

NEWS LETTER

日本小児歯科学会九州地方会

平成25年8月31日発行

発行／日本小児歯科学会九州地方会事務局(平成25年度)

〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1

福岡歯科大学成長発達歯学講座成育小児歯科学分野

TEL: (092) 801-0411 (内線656) FAX: (092) 801-0692 (医局直通)

日本小児歯科学会九州地方会 会長挨拶

日本小児歯科学会九州地方会 会長
久芳 陽一



会員の皆様におかれましては、日頃より会務の運営及び事業へのご協力、ご助言を賜り、誠にありがとうございます。

昨年、九州地方会は設立30周年を迎えることができました。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と重ねてお礼申し上げます。これに合わせまして30周年記念誌を作成致しましたが、お手元にお届けするのが、遅れまして申し訳ありません。

会長就任に際しまして、「日本小児歯科学会九州地方会のあり方に関する特別検討委員会」答申に沿って会務を進めて行くこと、更に「事業及び予算に関する検討委員会」を立ち上げ、地方会のあり方についての検討を行っております。ここでの議論をふまえ、問題点を整理統合し、これからの地方会のあり方を総合的に進めてまいりたいと考えております。

その一環といたしまして、小児の齲蝕が多い地域、小児歯科専門医が少ない地域、歯科大学がない県への協力を推し進めていきます。昨年は九州地方会が沖縄県歯科医師会と共催で、小児歯科研修セミナーを開催し、沖縄県歯科医師会の先生方からお礼のお言葉をい

ただきました。本年度も他の地域において、小児歯科学会の会員のみならず、広く地域の一般臨床医の先生方に対して、小児歯科への関心と知識を高めてもらう機会として九州地方会の支援による研修会を検討しております。

また、広報委員会の設立も視野にいれております。これには、地方会HPの作成、運営、会員情報の把握、他地方会との連携、九州各県との情報の共有などを目指していきたいと考えております。将来的には、地方会からの資料の提供や地方会に参加できなかった先生方にその内容をお伝えしたいと思います。

さて、第31回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会は、10月20日に福岡県歯科医師会館にて開催されます。大会のメインテーマは「口腔機能と全身の健康をめざして」です。

皆様お誘いあわせの上、多数のご参加をお願い申し上げます。

どうぞ九州地方会の事業にご理解とご協力を賜りまして、益々のご支援、ご協力いただきますように、よろしく願い申し上げます。

日本小児歯科学会九州地方会 副会長挨拶



日本小児歯科学会九州地方会 副会長
奥 猛志

日本小児歯科学会九州地方会では、久芳陽一会長のもと、地方会活動をさらに発展させるため、様々な取り組みを行っています。中でも、「日本小児歯科学会九州地方会の在り方に関する特別検討委員会」では、現在の地方会の抱えている問題点を整理し、今後の地方会の方向性を総合的に検討しています。

委員会から出された答申を要約すると以下のような内容になります。まず、地方会大会に関するものとして、学会での発表内容はなるべく臨床研究や報告を中心とすること、講演会やシンポジウムの内容を決定する際には、親学会や他地方会の企画内容や専門医研修会等の内容を十分に考慮して決定することとあります。また、歯科衛生士の認定制度も発足しているので、九州地方会での小児歯科認定歯科衛生士セッションを確立することも求められています。

学会活動に関しては、若手の小児歯科専門医や小児歯科認定歯科衛生士の育成支援のため、各地域における小児歯科研修の充実を図り、特に大学の無い地域の小児歯科学会会員に対する研修についての支援・充実を推進していくことの必要性が示されています。一方、九州地方会あるいは各地の研究会単位での臨床

データの蓄積についての検討を行い、臨床の実状に合った小児歯科医療や保険制度、さらには子どもたちの将来を見据えた小児歯科保健の発展・充実のため、データの蓄積に関して前向きに検討することも提言されました。

また、他地方会との連携については、第29回日本小児歯科学会九州地方会が平成23年度日本小児歯科学会中四国・九州地区合同地方会として開催されたように、今後は、地方会の効率的な運営とさらなる発展を考えた場合、合同地方会等の可能性について検討していくことが必要との意見が出ています。

一方、組織運営上の問題点も検討され、総会と役員会の日程、会長ならびに監事の選出方法等に関して検討が必要です。さらには一般社団法人である親学会と九州地方会との関係については、九州地方会の法人化も含め、地方会組織のあり方を会費や予算を含めて検討していかなければなりません。

会員の皆様方のご要望に少しでも添える活動を行っていきたいと思いますので、これからもご意見を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

日本小児歯科学会九州地方会 副会長挨拶



日本小児歯科学会九州地方会 副会長
九州歯科大学口腔機能発達学分野 教授 牧 憲司

本年は記録的な猛暑の夏が続き、各地で集中豪雨が起こっています。被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに皆様の生活が一日も早く復旧されますように願います。

九州地方会は、発足後、昨年が30年でありました。本年長崎大学の藤原卓教授のご尽力により30周年記念誌が発刊されました。記念誌の一頁、一頁に九州地方会会員の思いが込められていることが改めて感じられました。また懐かしい先生方のお姿も拝見し、思い出が走馬灯のように蘇りました。

九州地方会は現在、会員数524名の会員で構成されております。毎年開催されている大会および総会における発表内容も会員の先生方コデンタル・スタッフの方々のご努力により年々、充実してきております。平成25年度日本小児歯科学会九州地方会は10月20日福岡県歯科医師会館にて開催されます。大会のメインテーマは、「全身と口腔の健康を实践する小児歯科を目指して」です。大会長の尾崎正雄先生や準備委員長馬場篤子先生のご尽力により準備が着々と進められています。素晴らしい企画が準備されていますので会員の皆様、是非ご参加ください。

本部学会である日本小児歯科学会においても、鹿児島大学山崎要一教授が理事長となり精力的にさまざまな改革を行っております。地方会との関わりについても再検討されております。九州地方会の在り方を前向きに検討していくために「九州地方会のあり方に関

する特別委員会」が、平成22年6月に設置され、現在の状況に則した地方会にするために多くの協議が行われ、日本小児歯科学会九州地方会会則の一部改正が行われました。また昨年より「九州地方会事業および予算に関する検討委員会」が設置され私が委員長として活動しています。先の役員会で九州地方会から講師を派遣し、年に一度位のペースで九州各県で講演会が行われることが決定しました。

これは小児歯科に携わる先生方のスキルアップ、意見交換の場の設定を目指してのものです。また新規事業としていくつかの提案が行われており現在、検討中です。また機会があり次第ご報告します。

歯科会の現状を考えると少子高齢化社会の激動の時であり、小児歯科の立場も厳しい状況です。多様化する患者様の要求に応じられるように小児歯科医療も様々な角度からさらなる検討が行われる必要があります。大学においても大学人としての資質(教育・研究・臨床等)は、より高い次元のものが求められるようになっております。

このような時代に、開業医の先生と大学がしっかりとスクラム組んで連携をとっていくことは極めて重要です。そのために会員の皆様と最新の情報を共有できるようシステムを構築していきたいと考えてます。最後になりましたが会員の皆様には、今後ともご協力何卒よろしく申し上げます。

第30回日本小児歯科学会九州地方会大会開催記録

第30回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会 大会長 行成 哲弘

第30回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会は平成24年10月28日に、長崎小児歯科臨床医会の担当のもと、長崎大学医学部良順会館、記念講堂で開催されました。九州地方会としては初めて女性にスポットを当てた大会を企画し、メインテーマとして「女と男 ^{ひと} ^{ひと} ^いともに活かす小児歯科」を掲げ、講師の先生方、座長の先生方もなるべく女性に担当していただきました。女性がより多く参加できるように生後3ヶ月から小学生までの無料の託児所を設け、子どもたちも楽しめるネイチャークラフトも用意し、利用者も17名を数えました。第1会場の記念講堂では大会長の開会式の挨拶の後、九州地方会総会が開かれ全ての議題が承認されました。引き続き、特別講演として長崎大学の細矢由美子准教授に「小児歯科臨床」は「接着」が「命」：“ウァーオ!! 子供の歯って真珠より綺麗”と題し講演していただき、臨床に直結した多くのご教授を賜りました。

シンポジウムとして「女性が語る小児歯科の魅力ー更なる可能性を探るー」と題して講演をしていただきました。高野歯科クリニック(東京都)の高野博子先生には開業医・院長としての立場から「ー地域に支えられ開業、そして地域のオーラルヘルスケアを支援ー」、福岡歯科大学の馬場篤子先生には研究者・教育者としての立場から「チームワークの大切さー大学に勤務している者としての立場からー」、いけだ歯科医院(長崎市)の池田靖子先生には副院長として・一般歯科医と共生する小児歯科専門医としての立場から「一般歯科の中での小児歯科 家族全員一生通える歯科医院をめざす」と題し講演していただきました。座長の長崎

大学の藤原卓教授の軽妙で適切なコメントもあり、時々笑いも交えた活発な意見交換、質疑応答が行なわれました。



第2会場の良順会館ではコ・デンタルセミナーとして接遇マナー講師、メディカル接遇コンサルタントの鶴飼昌子先生に「患者さん目線の『積極的接遇』のすすめ～こちらから、声にならない言葉を聴こう～」と題して講演していただきました。会場はほぼ満席で接遇に対する興味の深さを感じられました。

教育講演1ではよつもと矯正歯科(鹿児島県鹿屋市)四元みか先生に「歯科医師としての食に係わる子育て支援～0歳からの食育～」、教育講演2では矯正・小児ひまわり歯科(宮崎県宮崎市)柿崎陽介先生に「スタッフとともに作る未来型歯科医院のデザイン」と題し講演していただきました。

また、一般講演としては31題、認定医・専門医更新展示発表5題、計36題にのぼり、会場のポスター前では活発な質疑応答が繰り広げられていました。学会参加者は歯科医師254名、コ・デンタルスタッフ153名、学生98名 保育士会29名、合計534名となり学会場は何処も熱気にあふれる状況でした。このように大会が盛会裏に終了できましたのも長崎大学の藤原教授をはじめ医局の先生方には並々ならぬご尽力、ご協力の賜物と、あらためて感謝する次第です。

第30回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会
「女と男ともに活かす小児歯科」 平成24年10月28日(日)



第30回日本小児歯科学会九州地方会総会会議録

総会開始にあたり、全員で故中村則子先生のご冥福をお祈りし、参加者全員で黙とうを捧げた。

- 1.開会の辞 牧副会長
- 2.会長挨拶 久芳会長
- 3.議長選出 長崎県開業の田口知義先生が選出された。

議 事

- 1) 第29回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会会計決算報告
奥前大会長より報告が行われた。
- 2) 平成23年度日本小児歯科学会九州地方会会計決算報告
増田幹事より報告が行われた。
- 3) 第29回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会決算及び平成23年度日本小児歯科学会九州地方会会計決算監査報告
尾崎前監事より監査報告が行われ、一括して承認された。

- 4) 平成24～25年度役員承認について
久芳会長より役員選出の経緯の説明がなされ、承認された。
- 5) 平成24年度日本小児歯科学会九州地方会予算案について
岡監事より報告が行われ、承認された。
- 6) 第32回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会開催地について
久芳会長より九州歯科大学の担当で行われることの説明がなされ、承認された。
- 7) その他
監事選出について久芳会長より説明がなされ、承認された。
- 4.その他
・第31回日本小児歯科学会九州地方会大会長挨拶
尾崎次期大会長
・国際小児歯科学会開催の案内 山崎常任幹事
- 5.閉会の辞 奥副会長

第31回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会の御案内

大会長 尾崎 正雄
準備委員長 馬場 篤子

このたび、福岡歯科大学成育小児歯科学分野が主催して下記の日程および会場にて九州地方会を開催することになりました。メインテーマは、“口腔機能と全身の健康をめざして”で、特別講演には、九州大学小児科の原寿郎教授に「小児免疫疾患と口腔」題する講演をしていただきます。また、教育講演には発達障害の専門家である筑紫女学院大学人間科学部の酒井均教授に「発達障害のある子の理解と対応」についてご講演頂きます。シンポジウムでは、“実践！筋機能療法”と題して、筋機能訓練でご高名な大野肅英先生をお招きし、治療目的で行う筋機能訓練ばかりでなく、小児の口腔機能育成という場から、みんなでディスカッションしたいと考えています。また、衛生士セミナーは、「子どもの口腔成育と食育支援」について小児歯科学会衛生士認定セミナーの認可を得て行われますので、衛生士の皆様もふるって

ご参加ください。また、昨年と同様に託児施設も併設されますので、ご活用ください。皆様のご参加をお待ちしております。

日 時：平成25年10月20日（日）
会 場：福岡県歯科医師会館5階
〒810-0041
福岡市中央区大名1丁目12番43号
会 費：歯科医師5,000円
歯科衛生士・助手・その他2,000円
事務局：福岡歯科大学成長発達歯学講座
成育小児歯科学分野
T E L：092-801-0411(内線656)
F A X：092-801-0692
E-mail: kped2013@college.fdcnet.ac.jp

第32回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会のお知らせ

第32回日本小児歯科学会九州地方会大会は九州歯科大学が担当して、準備を進めております。今回は「夢のある小児歯科を目指して～九州地方会からの発信～」をメインテーマに、特別講演Iは、井波矯正歯科医院院長 井波 徹先生をお迎えし、小児期からの咬合育成について、また、特別講演IIでは、九州歯科大学矯正科教授の山口和憲先生に、口呼吸に関する臨床研究についてお話ししていただきます。また来年は九州歯科大学が創立百周年を迎えますので、記念企画として「先輩たちからの後輩へのメッセージ」と題しまして九州歯科大学出身で活躍中の6名の先生にリレー講演をしていただきます。またテーブルクリニック2題は、機能的視点に立った咬合誘導をテーマに企画しています。衛生士セミナーは、「絵本を媒体にした歯

科診療」について3歯科医院の先生方にご依頼しております。例年通り展示発表、商業展示も予定しております。明日からの臨床に大いに役立つ内容を企画しますので皆様のご参加を心よりお待ちしております。

文責(牧 憲司)

日 時:平成26年11月23日(日)
8:30～17:00
場 所:九州歯科大学講堂および本館(予定)
大 会 長:牧 憲司
実行委員長:西田郁子
事 務 局:九州歯科大学健康増進学講座
口腔機能発達学分野

平成24年度 日本小児歯科学会九州地方会 会計報告

【収入】	単位:円	【支出】	
前年度繰越金	3,052,412	第30回日本小児歯科学会	
日本小児歯科学会より入金	761,500	九州地方会大会援助金	500,000
第30回日本小児歯科学会九州地方会余剰金	77,503	ニュースレター印刷費	73,500
利息	413	会議費	83,776
		通信費	960
合 計	3,891,828	雑費	1,470
		予備費	32,961
		繰越金	3,199,161
		合 計	3,891,828

上記の決算に間違いのないことを証明します。

会計監査 入江 英仁

会計監査 山崎 要一

第30回日本小児歯科学会九州地方会大会収支決算書

【収入】 学会本部補助金(地方会)		¥500,000
役員会室料		¥6,000
後援金		¥70,000
広告掲載・展示費		¥920,000
事前登録参加費		
	歯科医師	¥5,000×63名=¥315,000
	コデンタル	¥2,000×25名=¥50,000
		¥365,000
当日登録参加費		
	歯科医師	¥5,000×191名=¥955,000
	コデンタル	¥2,000×52名=¥104,000
	長崎県歯科医師会員優待参加	¥2,000×16医院=¥32,000
		¥1,091,000
懇親会費		
	事前申込	¥1,500×63名=¥94,500
	当日申込	¥2,000×56名=¥112,000
		¥206,500
専門医更新審査料		
		¥3,000×5名=¥15,000
		¥15,000
雑収入		¥14,638
合計		¥3,188,138
【支出】 印刷費		¥493,724
会議費		¥157,044
講師謝礼		¥441,966
懇親会費		¥214,375
雑費		¥55,000
事務用品費		¥35,266
人件費		¥518,000
大会運営費		¥404,441
会場設営費		¥522,900
託児関連費		¥113,187
通信費		¥154,732
余剰金返金		¥77,503
合計		¥3,188,138
【収支】 収 入		¥3,188,138
支 出		¥3,188,138
		¥0

平成24年度 第1回日本小児歯科学会九州地方会役員会 議事録

日時:平成24年 4月 22日(日) 12:00 ~ 14:00

場所:福岡県歯科医師会館 1 F 第一・二会議室

参加者:久芳陽一、牧憲司、藤原卓、山崎要一、尾崎正雄、橋本敏昭、柏木伸一郎、空田安博、一瀬暢宏、逢坂巨彦、木船敏郎、井上浩一郎、行成哲弘、入江英仁、森主宣延、西田郁子、馬場篤子、星野倫範、増田啓次、岩崎智憲、岡暁子、石井香

欠席者:奥猛志、野中和明、重田浩樹、竹島勇(敬称略)

1. 開会の辞:牧副会長より開会の辞が述べられた。
2. 会長挨拶:久芳会長より新会長挨拶が述べられた。
3. 報告事項

- (1)平成24 ~ 25年度 役員を久芳会長が報告し、馬場幹事が役員の名前を発表した。
- (2)九州地方会の在り方最終答申書および日本小児歯科学会九州地方会会則について久芳会長から報告が行われた。新規に入られた先生にはこの内容を確認して戴く旨お願いされた。
- (3)第30回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について、行成先生より、中村則子大会長が体調不良のため、第一線を退かされたことが述べられ、行成先生が新しく大会長になられたとの報告があった。その後、準備状況について以下のように述べられた。
 メインテーマ:『女と男 ともに活かす小児歯科』長崎からの発信!女性目線で大会を盛り上げていこうという趣旨で行う。

1. 大会および総会:平成24年10月28日(日)
8:30 ~ 16:00
2. 会場:学会会場 長崎大学医学部良順会館および記念講堂 託児所あり(無料)
〒852-8588
長崎市坂本町1-7-1 TEL:095-819-7674
懇親会会場 寶来軒別館
(学会会場より西へ400m、長崎原爆資料館前)
〒852-8117
長崎市平野町5-23 TEL:095-846-2277
3. 大会内容:

- 1)特別講演 細矢 由美子先生
- 2)シンポジウム
「女性が語る小児歯科の魅力—更なる可能性を探る—」
シンポジスト:高野 博子先生 馬場 篤子先生

池田 靖子先生

- 3)教育講演1 「歯科医師としての食に係わる子育て支援~0歳からの食育」

四元 みか先生(鹿児島県鹿屋市 よつもと矯正歯科院長)

- 4)教育講演2 「スタッフとともにつくる未来型歯科医院のデザイン」

柿崎 陽介先生(宮崎市 矯正・小児ひまわり歯科院長)

- 5)コ・デンタルスタッフセミナー「患者さん目線の「積極的接遇」のすすめ~こちらから、声にならない言葉を聴こう~」

鶴飼 昌子先生(接遇マナー講師・メディカル接遇コンサルタント)

案内状の発送は5月に行う、また懇親会では各大学、各県のスタディーグループの紹介を行う、ことも報告された。多くの先生方の参加を依頼された。

- (4)その他:3月4日の常務理事会・理事会の報告が久芳会長から以下のように述べられた。

・専門医として九州歯科大学の森川和政先生が新規に登録された。

・専門医認定委員が藤原先生から尾崎先生へ交代された。

・都道府県歯科医師会社会保険担当理事連絡協議会で小児歯科学会に依頼があり、品川光春先生が社会保険委員会の委員長に選任された。

・専門医指導医の申請書に各地方会会長の推薦書が必要になることになった。推薦をする際の方法は次回の役員会までに検討することとした。

・藤原幹事から、専門医申請のためのプレゼンテーションについて専門委員会が審査を行うこと、発表代として3000円の手数料がかかる事、発表用紙はA3と決められているが、A4を2枚で発表しても良い、発表形式のひな型を検討中である事が述べられ確認された。

・久芳会長から、次期日本小児歯科学会の理事長に鹿児島大学の山崎教授が就任されたことから九州地方会としても理事長を全面的にバックアップすべく協力する旨が述べられた。

4. 議長選出:逢坂幹事が選出された。

5. 審議事項

- 1)平成23年度日本小児歯科学会九州地方会
会計報告
会計担当だった山口先生が欠席のため、増田幹

事が報告した。

2) 1) に対する会計監査報告

尾崎常任幹事より、平成23年度日本小児歯科学会九州地方会会計報告は第29回日本小児歯科学会九州地方会の会計報告を待って署名を行うため、次回の役員会で最終的に報告する(旧監事が監査を行う)旨の説明がなされ、1)、2)について全会一致で承認された。

3) 平成24年度日本小児歯科学会九州地方会事業計画案

久芳会長より本年度の事業計画について以下について説明がなされた。

会員関係・機構関係・学術関係・専門医・認定医制度関係・広報関係・各地方会との協議及び連携・小児医療の連携・その他(小児の齲蝕が未だに多い地域、小児歯科専門医が少ない地域に対して地方会として底上げを行っていきたい)の内容が述べられた。また、小児科医会との連携が得られるように検討していただくよう親学会に提案された。子ども医療に関しては、上限を決めて補助金を出すためのシステム作りをし、次年度から援助を行うことを全会一致で承認された。

4) 平成24年度日本小児歯科学会九州地方会会計予算案

事務局会計幹事の岡先生が予算案を説明した。山崎幹事より、親学会が法人化されたことで、地方会の位置付を明確にしないといけないこと、余剰金使い方の検討も必要であることが述べられた。以上のことを踏まえて予算案に関して全会一致で承認された。

5) 第31回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会の開催(案)について

尾崎常任幹事より、以下の説明が行われ承認された。

日 時:平成25年10月20日(日)8:30～16:00

場 所:福岡県歯科医師会館4・5F

大会長:尾崎正雄 実行委員長:馬場篤子

事務局:福岡歯科大学成長発達歯学講座

成育小児歯科学分野

特別講演:小児科の医師に依頼交渉中

教育講演:「行動障害を持った子供たち(仮)」

筑紫女学園大学

人間科学部 人間科学科 教授 酒井 均 先生

シンポジウム:咬合誘導・顎顔面の発達関係の内容

内容コ・デンタルセミナー:笑顔で子ども達に対応

できる衛生士を育成できるような内容を検討中

6) 第32回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会の開催について 牧常任幹事より、以下の説明が行われ承認された。

大会長:牧 憲司 準備委員長:西田郁子

事務局:九州歯科大学小児歯科学講座

テーマ:明日の日常臨床に役立つ内容で企画を検討中

西田幹事より、日時は10月11月のどちらかの連休を利用すること、場所は九州歯科大学を予定していることで検討中と述べられた。

7) 平成24年度ニュースレター(案)発刊について

事務局広報幹事の石井先生より説明がなされ、全会一致で承認された。

8) その他(資料9)

・久芳会長から、

①5月開催の50周年式典に大会長からお花の依頼について、全会一致でお花を送ることが承認された。

②30周年記念誌作成について(近畿の本を回覧し、作成発刊はH25年度になる)、30周年記念誌を作成する事、また内容等に関しては第30回大会を担当する長崎大学と久芳会長とが相談して進めていくことで承認を得た。

③以前、藤原教授御提案があった小児歯科学会全国大会発表者の出席旅費補助金についての継続審議について、7月の役員会で再度審議できるよう、また意見等を事務局(担当:馬場)宛に送っていただくことで承認を得た。

④県代表幹事選出結果、新役員の選出方法等の公表の方法について、会長、副会長と相談して7月の役員会で再度審議することで承認を得た。

⑤監事選出の件について、幹事と監事が同一人物では問題があるのではないかという意見を頂戴した。この件について、会長以下執行部で再検討していただき、総会までに結論を出してもらうことで承認を得た。

・尾崎先生から、福岡歯科大学同門会が開催している合同ゼミを地域研修会として申請することについて、承認された。

7月の役員会の開催予定日は7月22日(日曜日)と承認を得た。

6. 閉会の辞:牧副会長より閉会の辞が述べられた。

平成24年度 第2回日本小児歯科学会九州地方会役員会 議事録

日 時:平成24年 7月 22日(日)

12:00 ~ 14:15

場 所:福岡市歯科医師会館1F第一・二会議室

参加者:久芳陽一、牧憲司、奥猛志、品川光春、石谷徳人、藤原卓、山崎要一、尾崎正雄、橋本敏昭、柏木伸一郎、空田安博、一瀬暢宏、逢坂亘彦、木船敏郎、井上浩一郎、行成哲弘、入江英仁、重田浩樹、竹島勇、西田郁子、星野倫範、増田啓次、岩崎智憲、高風亜由美、馬場篤子、岡暁子、石井香

欠席者:野中和明

(敬称略)

1. 開会の辞:牧副会長より平成24年7月の九州北部豪雨で被害に遭われた先生方へのお見舞いを兼ねて開会の辞が述べられた。

2. 会長挨拶:久芳会長より会長挨拶が述べられた。特別幹事として品川先生、石谷先生が新役員として加わられたことを報告された。

3. 故中村則子先生に対しご冥福をお祈りし参加者全員で黙とうを捧げる。

4. 報告事項

1)第30回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について行成先生が資料1を参考に順調に進んでいると報告された。一般演題および専門医更新演題がそれぞれ1題ずつ追加されたことが付け加えられた。また、座長には専門医指導医である女性歯科医師に依頼する旨、次回の役員会は10月27日土曜日18時~20時を予定している旨、報告された。

2)第31回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会準備状況について尾崎先生より資料2を参考に報告された。

メインテーマ:全身と口腔の健康を実践する小児歯科をめぐして

大 会 長:尾崎正雄、実行委員長:馬場篤子

日 時:平成25年10月20日(日)

8:30 ~ 16:00

場 所:福岡県歯科医師会館4・5F

教 育 講 演:酒井 均(筑紫女学園大学)

「(仮)発達障害について」

特 別 講 演:原 寿郎(九州大学小児科)

「(仮)免疫について」

シンポジウム:「(仮)実践!筋機能訓練」

(コ・デンタルスタッフと合同に行う)

基調講演:大野爾英(横浜市)

ポスター発表:一般発表・専門医更新用発表

事 務 局:福岡歯科大学成長発達歯学

講座育成小児歯科学分野

〒814-0193

福岡市早良区田村2-15-1

電話:092-801-0411

F A X :092-801-0692

3)その他:奥副会長より、メーリングリスト歯科口腔保健医療についての資料を参考に目標達成に協力の依頼がされた。

久芳会長より、50周年の祝賀会で九州地方会から生花を出した事の報告がなされた。

品川特別幹事より、社会保険委員会のアンケートへの協力依頼がなされた。

奥副会長より、広報委員会の報告がなされた。メルマガに掲載する各地方のスタディーグループの活動状況について原稿依頼をする予定である。

橋本特別幹事より、専門医認定委員会の委員が藤原教授から尾崎教授に変更となった。役員および評議員でなくても専門医指導医であれば専門医認定医委員になれるというように変更されたこと、

生涯研修記録簿は自分でダウンロードして頂くこと、HPに掲載されている規約の一部が古いままになっていること、小児歯科関連学会研修会での発表および参加については、会員証(IDカード)で登録を行った研修会については参加証明の添付が必要であったがそれは免除となったこと、小児歯科関連学会や地域単位での研修会については申請に際して所属地方会の承認が必要になること、更新に必要な参加セミナーは2回以上参加すること、同じ内容では重複しないこと、専門医指導医の申請には各地方会会長の推薦書が必要となること、細則第2条、「あるいは」を「および」に変更、第6条専門医指導医の審査料20000円が免除された、専門医セミナーが来年2月に愛知学院大学で開催予定、本年9月末申請書類締切、10月に委員会書類審査、12月に試験を行うことが報告された。最後に、更新の為のプレゼンテーションはできるだけ一般発表で行うようお願いされた。発表代として3000円の手数料がかかる事、発表用紙はA3と決められているが、A4を2枚で発表しても良い、発表形式のひな型を検討中である事、資料の添付もできる場合があることが述べられ確認された。

山崎常任幹事から、社会保険委員会のアンケートの協力について、サンデー毎日からのアンケートの要請がなされた。平成25年6月12~15日に韓

国ソウルでIAPDが行われるため積極的な多数の参加を依頼された。藤原常任幹事から学術委員会が発表のお手伝いをする予定であることが報告された。

5. 議長選出: 久芳会長から柏木幹事が指名され全員一致で選出された。

6. 審議事項

1) 奥副会長より資料3を参考に第29回日本小児歯科学会九州地方会および総会の会計報告がなされた。

2) 増田幹事より資料4を参考に平成23年度日本小児歯科学会九州地方会会計報告がなされた。

3) 尾崎常任幹事より1) 2) に対して問題がなかったと監査報告がなされ承認された。

4) 久芳会長より県代表幹事選出結果、新役員選出方法などの公表方法について、会員からその結果を公表してもらいたいとの意見があり、前会の役員会において総会で県代表幹事の選出について報告することが決定されたのでそのように行うこと、また新役員の選出方法については、監事は大学1名、開業医1名から選出することとなったのでそのように行いたい旨、審議がはかられ、承認された。

5) 久芳会長より30周年記念誌作成について藤原常任幹事より詳細について報告がなされた。まず、内容、予算について役員に意見を求められた。品川特別幹事から若い先生に古い時代を理解してもらうために過去30年分の内容を掲載してはどうかとの意見が述べられた。歴代会長挨拶、発表演題、名誉教授への原稿依頼、スナップ写真、ここ10年分のニューズレターの掲載、スタディーグループの紹介等次回の役員会までに検討することとした。冊子が電子媒体(CD)か、HP掲載を考えていると述べられた。木船幹事より、ここ10年活躍された先生に思い出等、原稿依頼してはどうかと意見があった。予算は余剰金を利用してはどうかと藤原常任幹事から意見があり、逢坂幹事から賛成意見が述べられた。山崎常任幹事からも余剰金の使い方を考えた方が良くと意見があった。内容に沖縄で開催された公開講座などを掲載してもらいたいと意見があった。今回の意見を踏まえ次の役員会で主な掲載内容案を提示して戴くことで承認を得た。

6) 久芳会長より小児歯科学会全国大会発表者の出席旅費補助金について、余剰金の使い方を兼ねて検討して戴きたいとの提案がなされた。牧副会長から大学の先生に年齢を区切って補助してはどうか、藤原常任幹事では小児歯科学会全国大会、更に国際学会への参加へも補助してもらいたい、品川特別幹事から金額等の基準を年間50万円とかで決めてもらう、尾崎常任幹事からは大学中心に補助してもらうのは大学以外の会員に対して不公平で

ある、逢坂幹事からは補助金を受けた先生は地方会に還元するようなシステムをつくる、等の意見が提案された。品川・橋本両特別幹事より特別委員会を設置し検討してもらってはどうかと意見があり承認を得た。

7) 久芳会長より監事選出について、大学の教授が監事をするのはおかしいのではないかと意見された。秋の総会で新役員を紹介することになるが、監事も総会で承認を得ることになる。久芳会長は、監事は大学以外の先生を2名選出すべきと意見され、山崎常任幹事が役員改正された時の監査報告が滞るため、一人は大学の先生にお願いしてはどうかと意見された。藤原常任幹事より大学から1名とこだわらなくて開業医から2名で良いのでは、品川特別監事から監事の人数は定款にさだめられた人数になっているため、定款を変えれば人数の変更はできると意見された。最終的に総会ではかることで承認を得た。

8) 久芳会長より資料5を参考に沖縄県主催小児歯科研修セミナーにおける共催名義使用について提案がなされ、朝田委員長に名義使用の依頼を行うことで承認を得た。

9) 久芳会長より資料6を参考にこども健康週間を通して小児医療の連携についての協力およびHPを確認されて状況の報告を依頼された。井上幹事より宮崎県では11月に行われるイベントに参加していることを報告しそこなっていたことのお詫びが述べられ、交通費等の補助の考慮を検討頂きたい旨意見が述べられた。藤原常任幹事より今回、実費程度は申請されたら支給することを決定しはどうかと提案され、久芳会長は副会長と相談し、予算との兼ね合いも考慮し前向きに検討すると返答され、承認を得た。

10) その他項目で小児歯科学会の活性化のために標ぼう医の入会率の増加を積極的に推進していただきたいとお願いされた。奥副会長よりJSPと連携を活性化、DHの入会促進依頼が追加された。山崎常任幹事より以前みとめられていた「認定医」復活の説明がなされた。木船幹事から一般の歯科医師、会員以外の歯科医師に小児歯科治療に対して教育する必要があるのではないかと提案され、品川特別幹事から小児歯科学会HPに掲載されると返答された。10月の役員会の開催予定日は10月27日土曜日午後6時からと承認を得た。

7. 入江監事から、余剰金に関して慎重に検討してもらいたい、早急にこども健康週間への参加、社保のアンケートに答えてもらう、監事は関係者は避けるべきとの総評が述べられた。

8. 奥副会長より閉会の辞が述べられた。

平成24年度 第3回日本小児歯科学会九州地方会役員会 議事録

日時:平成24年 10月27日(土)18時～20時半

場所:長崎大学医学部ポンペ会館

参加者:久芳陽一、牧憲司、品川光春、石谷徳人、藤原卓、山崎要一、尾崎正雄、橋本敏昭、柏木伸一郎、空田安博、一瀬暢宏、木船敏郎、井上浩一郎、行成哲弘、入江英仁、重田浩樹、竹島勇、西田郁子、星野倫範、増田啓次、岩崎智憲、馬場篤子、岡暁子、石井香

欠席者:奥猛志、野中和明、逢坂亘彦(委任状あり)

(敬称略)

1. 開会の辞:牧副会長より第30回日本小児歯科学会九州地方会大会の開催にご尽力いただいた関係者の先生方にねぎらいの言葉がかけられ、開会の辞が述べられた。

2. 会長挨拶:久芳会長より会長挨拶が述べられた。

3. 報告事項

1) 第30回日本小児歯科学会九州地方会総会および大会準備状況について、行成大会長から順調に進んでいることが報告された。また託児所の利用が予想を超えて多かったため、学会からの援助要請があった。

2) 第31回日本小児歯科学会九州地方会総会および大会準備状況について、尾崎次期大会長から資料1を参考に報告された。

メインテーマ:全身と口腔の健康を実践する小児歯科をめざして

日時:平成25年10月20日(日)8:30～17:00

場所:福岡県歯科医師会館4・5F

教育講演:酒井 均(筑紫女学園大学)

「(仮)発達障害について」

特別講演:原 寿郎(九州大学小児科)

「(仮)免疫について」

シンポジウム:「(仮)実践!筋機能訓練」

(コ・デンタルスタッフと合同に行う)約2名程度

基調講演:大野肅英(横浜市)

ポスター発表:一般発表・専門医更新用発表

大会長:尾崎正雄、実行委員長:馬場篤子

事務局:福岡歯科大学成長発達歯学講座

成育小児歯科学分野

〒814-0193

福岡市早良区田村2-15-1

電話:092-801-0411

FAX:092-801-0692

3) 県代表幹事・新役員選出方法などの公表方法について、久芳会長から、明日の総会時新役員の承

認の際、会則に則って選出したと報告すると説明があった。

4) 監事について、久芳会長から今期までは会則に沿って大学から1名、開業医から1名の形を取るが、今後更なる検討の機会を持ち、次期までには監事選出について結論を出すことを総会で説明する旨、報告された。

5) 30周年記念誌作成について、藤原常任幹事から資料2を参考に報告された。また、作製・発送費用について審議事項で審議することとなった。

6) その他:

① ニュースレター正誤表について馬場庶務幹事から資料3を参考に報告があった。印刷・発送費用について審議事項で審議することとなった。

② 10/24に行われた専門医認定委員会からの報告が尾崎常任幹事から、開業医の指導医浸生では地方会会長の印鑑が必要であるが、大学の先生は地方会会長の印鑑がなくても申請できること、橋本特別幹事から専門医試験が12/16鶴見大で行われる事、妊娠出産に伴う専門医更新延長について4名から申請があったので認められたことの報告があった。平成25年度の専門医・認定医合同セミナーは鶴見大で9月ごろ、朝日大学で11/3に行われる予定、専門医セミナーは6月に岡山大で、10/26に青森市で、H26/2/9福岡で行われる予定であると報告があった。専門医申請書の記載に不備があったので注意が必要、専門医指導医について、学会の役員や委員などをしてもらうように、学会活動が少ないと指導医を下ろされる可能性があるため注意するように、専門医指導医を各県に最低1名置きたいので貢献度の高い先生には是非専門医指導医を申請してもらいたいと報告があった。

4. 議長選出について、久芳会長から井上県代表幹事が指名され全員一致で選出された。

5. 審議事項

1) 第30回日本小児歯科学会九州地方会総会式次第について、久芳会長より資料4を参考に説明がなされ、行成大会長から挨拶を省くようお願いされたので、それを省き、他は資料4の通り行うことで承認された。

2) 第32回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会について、牧副会長より九州歯科大学の講堂および本館にて、大会長に牧教授、実行委員長に西田幹事、H26/11/23または11/16開催す

- る旨説明がなされた。内容など詳細は次回の役員会までに用意する旨説明がなされ、承認された。
- 3) 小児医療との連携について(こども週間行事について)、久芳会長から資料5を参考に説明がなされ、引き続き報告して頂く旨要請があった。また、代表者が参加できない時は他の先生に参加して戴いて良いことの説明がなされた。宮崎の井上幹事から日時が明日なので不参加、もう一つのイベントには11/3に参加する。木船大分県代表幹事から、詳細はポスターやHPに掲載されていて、大分では10/8に小児科医と遊ぼうという行事に歯科健康相談として参加した報告がなされた。山崎常任幹事から小児保健協会にこちらから積極的に参加するよう意見が述べられた。鹿児島県の重田先生からこども健康週間のイベントについての報告ではないのか?久芳会長からこども健康週間以外の参加についても是非報告をお願いされ、今後、積極的に行事に参加することで承認された。
- 4) 沖縄県主催小児歯科セミナーにおける共催名義使用と今後について、久芳会長から経緯が説明され、その結果10単位親学会から認められた。竹島沖縄県代表幹事から今回のセミナーの概要が報告された。従って沖縄を含む他の県で同じ

- ようなセミナーがあれば要請してもらい、地方会として支援したいので、役員会で協議してもらいたいと提案があり、承認を得た。
- 5) 九州地方会の事業及び予算に関する検討委員会について、牧副会長から資料6を参考に説明がなされた。繰越金の使い方について、事業の見直しについて、地方会の法人化は会計処理の煩雑さなどの理由から、任意団体のままでかつ剰余金を有効活用する方法を考えていくこと、記念誌は最近10年分の雑誌で年度内に発送することとし、30周年記念誌作製・発送費は、補正予算案を明日の総会にはかり、承認を得ること、ニューズレター正誤表は記念誌発送に便乗することで承認を得た。
- 6) その他:山崎常任幹事から乳歯の歯内療法薬剤について注意説明があった。また国家試験問題作成のWSを若い教授を対象に行う予定であるとの報告がなされた。
6. 監事総評:入江監事より、本会と地方会の在り方について、事業の推進運営について今後更なる検討を行って頂くこと、FCについて口頭で周知してもらう必要があること、明日の学会が成功するようにと総評が述べられた。
7. 閉会の辞:牧副会長より閉会の辞が述べられた。

平成25年度日本小児歯科学会九州地方会事業計画

1、会員関係

会員の入退会

会員の入会、退会につき親学会と連携、協力を行う
小児歯科を標榜の開業医、歯科衛生士の入会勧誘に努める

2、機構整備

機構整備に関する検討

①本会の機構、組織及び運営に関する検討

本会の機構、組織の改善により運営の効率化を図るための検討を行う

②諸規則の検討

諸規則、諸規定の検討、策定して整備を図る

3、学術関係

①日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会の開催、他地区地方会との共催

②小児歯科医学の研鑽と啓発のための勉強会や研修会を企画する

4、専門医・認定医制度関係

親学会と連携しセミナーの開催など健全なる運営、管理ができるように協力する

5、広報関係

①ニューズレターの発行

本会会務運営の会員への伝達、周知に努める

②ホームページの更新

親学会が運営するホームページの更新に協力する

6、各地方会との協議及び連携

地方会連絡協議会への出席

各地方会間の連絡、地方会の問題などを協議し連携を図る

7、小児医療の連携

こども健康週間などへの協力に努める

8、その他

新規事業に予算を配分

教室紹介

福岡歯科大学 成長発達歯学講座 成育小児歯科学分野
教授 尾崎 正雄

本学成育小児歯科学分野は、1973年11月に、吉田穰教授のもとで西日本地区において初めての小児歯科教室として開講し、1974年3月から、現在の小児歯科診療室が確立されました。当時の福岡市はむし歯の洪水状態で、患者さんに数か月の診療待ちをして頂くほどだったようです。私は、初代小児歯科教授の吉田教授と2代目の本川 渉教授の下で小児歯科の手ほどきを受けてきました。その間に、21世紀となりバブルがはじけて経済が縮小し、また少子高齢化を迎えたことで、私が入局した32年前のように患者が押し寄せることも無くなり、教室としても新たな診療および研究形態に移行する時期となりました。現在の医局員は、教授1、講師2、助教2、医員2、大学院生4そして専攻生が2名とまだまだ小さな教室です。若手医局員と学生への指導を兼ねて、朝8時からの早朝カンファレンスと週一回夕方に行われる症例検討会を行い、臨床面での幅と質の向上を図っています。また、本分野は海外との交流が深く、1978年と1986年の2回、UCSFのモリス教授が各員教授として教室員の指導にられました。その他にも1993年には韓国全北大学歯科大学校の白 秉周教授が半年間、客員教授

としてお見えになられたのをきっかけに、同教室との姉妹関係が20年間続いています。平成26年1月には、第10回合同研究発表会と教室の40周年記念を併催して行う予定で準備を進めています。福岡歯科大学医科歯科総合病院小児歯科における紹介患者数は年々増加しており、地域貢献と病診連携が充実してきました。また、2011年12月に福岡市博多駅前に福岡歯科大学口腔医療センターが設立され、遠くから来院される患者の受け入れが可能となりました。診療の特色としましては、咬合誘導や小児口腔外科系を得意分野としており、過剰歯摘出、埋伏歯の牽引などを本学矯正歯科学分野と連携して行っています。さらに今年の4月から、福岡歯科大学医科歯科総合病院に小児科外来が開設となったことから、小児医療の拠点となるよう、小児科との連携も深めていくつもりです。

私達は、8020運動の出発点が小児歯科であることを年頭に、日本の将来を支える子供たちの健康を守るためにも、小児歯科の必要性を学生や研修医に教育し、優れた小児歯科専門医を育てたいと考えていますので、今後ともよろしくお願いします。



小児歯科医局員

九州地区スタディーグループ一覧

研究会名	代表者	事務局	事務連絡		連絡者メールアドレス	電話番号	FAX番号
福岡小児歯科集談会	二木 昌人		810-0022	福岡市中央区薬院 4-1-26 薬院大通 センタービル2F	ふたつき 子ども歯科	fc-dental @san.bbq.jp	092-523-7560 092-523-7540
NPO法人 Well-Being	筒井 昭仁		810-0041	福岡市中央区大名 1-15-24-2F		jimukyoku @well-being.or.jp	092-771-5712 092-741-8037
月曜会	小島哲一郎 (世話人)		815-0041	福岡市南区野間 1-15-3 アミューゼ南高宮1F		info @kojima-kyousei.jp	
小児口腔医療 研究会	橋本 敏昭	福岡歯科大学 成育小児 歯科学分野	814-0193	福岡市早良区田村 2-15-1 成育小児歯科学分野内		toshikita24-41 @yk2.so-net.ne.jp	092-801-0411 092-801-0692
北九州市小児 口腔保健学会	木村 光孝	新生印刷 出版社事務 センター	803-0206	北九州市小倉南区 葛原東2-5-45		mitu320 @nifty.com	093-473-5555 093-473-5553
佐賀小児歯科 研究会	森永 太		849-0935	佐賀県佐賀市八戸溝 3-8-2	うめづ歯科・ 小児歯科医院	umedusika @mbn.nifty.com	0959-30-2555 0959-30-5566
長崎小児歯科 臨床医会	行成 哲弘	堀内礼子	854-0001	諫早市福田町37-3	堀内歯科・ 小児歯科	aya.dent @yahoo.co.jp	0957-21-5333 0957-21-5332
熊本小児歯科 懇話会	逢坂 亘彦	入江英仁	861-3206	上益城郡御船町辺田見 366-1	入江歯科医院	e.irie @mail.sysken.or.jp	096-282-3188 096-282-3177
宮崎小児歯科 臨床懇話会	旭爪 伸二		880-0872	宮崎県宮崎市永楽町 207-1	わかば 小児歯科	wakaba @miyazaki-catv.ne.jp	0985-27-2003 0985-25-1047
宮崎障害者歯科 懇談会	安部 喜郎		880-0834	宮崎市新別府町久保田 683-1	宮崎歯科福祉 センター	d-senter @mnet.ne.jp	0985-83-3344 0985-83-3345
小児歯科臨床 を語る会	奥 猛志		890-0034	鹿児島市田上 5-4-27	おく小児 矯正歯科	dentaman117 @giga.ocn.ne.jp	099-214-6471 099-214-6472
沖縄小児歯科 研究会	竹島 勇	加藤真由美	930-0806	那覇市首里汀良町 3-63-3 ハイビスカス マンション2F	くばがわ 歯科医院	milkyway.6480 @utopia.ocn.ne.jp	098-887-6480 098-887-6481

小児口腔医療研究会のご紹介

会長 橋本 敏昭

本研究会は福岡歯科大学成育小児歯科学分野内で本川名誉教授、尾崎教授を中心に平成2年から行われていた「合同ゼミ」を学外の研修会として名称を新たに「小児口腔医療研究会」と改名し、平成25年度から私が会長に就任し発足しました。本会は福岡歯科大学小児歯科同門会会員と小児歯科医療に従事する歯科医療関係者との会員相互の親睦をはかり、学識を高め、小児口腔医療の発展に寄与することを目的としています。また、当研究会は専門医指導医や多くの専門医が中心となり活動を行っており、会則など規定の資料を提出し日本小児歯科学会専門医制度規則に基づき、専門医の研修単位の取れる地域単位の研修会として親学会で正式に認定されました。事業内容は毎年5～6回の学術講演会、実習ならびに研究発表会を行っております。現在までのセミナー

開催数は144回にも及び内外の著名な講師陣をお招きしご指導いただいております。お問い合わせは、事務局：福岡歯科大学成育発達歯学講座成育小児歯科学分野内〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15-1 電話 092-801-0411 (内線656)です。当研究会では只今会員を募集しております。皆様のご入会、心よりお待ちしております。当会の役員は以下のとおりです。会長：橋本敏昭、副会長：久芳陽一・石井 香、幹事：岡 暁子(庶務)・久保山博子(会計)、副幹事：杉本あゆみ(庶務)・柏村晴子(会計)、監事：手嶋文史・馬場篤子、評議員：勝俣真理・一木数由・小笠原榮希・森奈千子・許田淵仁・坂口繁夫・京極絵美・鶴田勝久・橋本浩・豊原達也・葉山康臣、顧問：尾崎正雄教授

専門医セミナー

日 時 平成25年10月26日(土)
会 場 青森市文化観光交流施設 ワ・ラッセ 2階イベントホール
講 師

1. 黒木 淳子先生
(日本歯科大学新潟生命歯学部小児歯科学講座)
テーマ:「歯科からの食育～成長発育に応じた口の健康を食から考える～」
2. 齊藤 一誠先生
(新潟大学大学院医歯学総合研究科小児歯科学分野)
テーマ:「口腔機能と形態から考える小児期の咬合治療」

日 時 平成26年2月9日(日)
会 場 福岡県歯科医師会館
講 師

1. 吉野 賢一先生
(九州歯科大学口腔保健学科口腔保健管理学口座)
テーマ:「脳機能からみた小児歯科臨床の意義」
2. 西間 三馨先生
(福岡女学院看護大学学長)
テーマ:「みんなで学ぼう!子どものアレルギー(仮)」

専門医・認定医合同セミナー

第 1 回:平成25年9月8日(日)鶴見大学記念館

第 2 回:平成25年11月3日(日)朝日大学

基調講演:児童虐待 ―現場からの提言―

川崎二三彦(子どもの虹情報センター研究部部長)

講演 2 :口腔は生活をあらわす―学校歯科健診の現状と課題―

渡部 茂(明海大学歯学部形態機能成育学講座 口腔小児科学分野教授)

講演 3 :川崎市歯科医師会 児童虐待の取り組みと、川崎市立西丸子小学校の現場から

佐藤 哲郎(公益社団法人川崎市歯科医師会常務理事)

討 議

日本小児歯科学会九州地方会会則

平成23年10月10日一部改正

第1条 本会は日本小児歯科学会九州地方会と称する。

第2条 本会は小児歯科を通じ地域の小児保健の向上に貢献するとともに必要とされる調査研究を行い発表と知識の普及を計ることを目的とする。

第3条 本会の事務局は別に定める所におく。

第4条 本会の会員は九州地区ならびに沖縄県に居住する日本小児歯科学会会員で構成する。

第5条 1.本会に次の役員を置き、役員会を構成する。

会 長 1名

副 会 長 2名

常任幹事 5名

幹 事 若干名

・庶務幹事、会計幹事、広報幹事は本部役員幹事とする。

・次期大会長、地方会推薦理事、本会理事長推薦理事は特別幹事とする。

・大学代表幹事と県代表幹事は一般幹事とする。

・監事 2名

(議決権は有さないものとする)

2.役員任期は、2か年とする。ただし再任は妨げない。なお、役員は九州地区ならびに沖縄県に居住するものに限る。

第6条 1.会長は本会を代表し、会務を統括する。

2.副会長は会長を補佐し、会長が職務を執行できない場合、職務を代行する。

3.幹事は本会運営に参画し、本会の円滑な運営を計る。

4.監事は会計および会務を監査する。

第7条 1.次期会長および監事は、役員会が候補者を推薦し総会で決定する。

2.県代表幹事は九州地区ならびに沖縄県から選出された代表者とし、その数は各県の会員数に照らし合わせて別に定める。

3.大学代表幹事は5大学小児歯科講座の推薦

によって決定する。

4.常任幹事は九州地区5大学歯学部小児歯科主任教授とする。

5.次期役員は総会で決定する。

第8条 本会は毎年1回総会を開き会務の報告、会則の改正、役員を選出、会計報告ならびにその他の議事を決定する。

第9条 本会は毎年1回会員による発表ならびに教育的事業を行う。

第10条 本大会は当日会費を徴収できる。なお会費は開催主体が役員に提出し、裁決にて決定する。

第11条 本会には顧問をおくことができる。

第12条 本会の事務年度は4月1日より翌年3月31日迄とする。

第13条 会務の円滑な運営のため、内規を役員会で決めることができる。

第14条 第8条の規定にかかわらず付則2、内規の変更に限り、役員会において行うことができる。

(付則)

1. 本会則は昭和58年4月から施行する。

本会則は平成20年11月23日から改正施行する。

本会則は平成23年10月10日から改正施行する。

2.本会の事務局は、平成24年4月1日より下記に置く。

〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1

福岡歯科大学

成長発達歯学講座 成育小児歯科学分野内

日本小児歯科学会九州地方会事務局

TEL : 092-801-0411

FAX : 092-801-0692

(内規)

1.役員会は現在の年2回から必要に応じて年3回開催する。

2.九州地区各大学においては、現在地方会会長をまだされていない教授の方々が多くなってきていることより、当分の間は大学の教授と開業医が交互に九

- 州地方会会長として選出されることが望ましい。
3. 監事および副会長は大学、開業医からそれぞれ1名選出する。
 4. 日本小児歯科学会への地方会推薦理事は会長が推薦し、役員会で承認する。
 5. 一般幹事は、大学代表幹事(5名)と県代表幹事、福岡(2名)、長崎(1名)、熊本(1名)、大分(1名)、佐賀(1名)、宮崎(1名)、鹿児島(1名)、沖縄(1名)の計14名とする。
 6. 幹事選出にあたっては、大学代表幹事は各大学の推薦による。また、各県代表幹事は各県下所属の会員による推薦によって選出する。ただし、推薦の結果や各県の事情によって決定に至らなかった場合は九州地方会会長に一任とする。将来においては、各地域において推薦された人を対象として選挙を実

- 施し決定する方向が望ましい。
7. 幹事としてその任に対して十分にその責任を遂行できないと判断された場合は、九州地方会会長は注意勧告することが出来る。さらに改まらない時は役員会の合意を得て、推薦団体に対して責任を果たせる人選を依頼することができる。
 8. 九州地方会本会からの大会援助金は一律50万円とし、大会長の要請があれば支出することができる。
 9. 大会前日の役員会会議費は九州地方会会計から支出することとする。
 10. 歯科医師の当日会費は一律5,000円とする。
 11. 学会活動の活性化のため、大会開催以外の予算措置を含めた事業計画を立案し、役員会の承認により実施する。

H24～25年度役員会名簿

役 職	氏 名	所 属	役 職	氏 名	所 属
会長,九州地方会特別幹事	久芳 陽一	福 岡	県代表幹事	一瀬 暢宏	佐 賀
副会長, 常任幹事	牧 憲司	九州歯科大学	県代表幹事	行成 哲弘	長 崎
副会長,九州地方会特別幹事	奥 猛志	鹿 児 島	県代表幹事	逢坂 亘彦	熊 本
常任幹事	野中 和明	九 州 大 学	県代表幹事	木船 敏郎	大 分
常任幹事	藤原 卓	長 崎 大 学	県代表幹事	井上浩一郎	宮 崎
常任幹事,監事	山崎 要一	鹿 児 島 大 学	県代表幹事	重田 浩樹	鹿 児 島
常任幹事	尾崎 正雄	福岡歯科大学	県代表幹事	竹島 勇	沖 縄
大学代表幹事	西田 郁子	九州歯科大学	九州地方会特別幹事	品川 光春	長 崎
大学代表幹事	増田 啓次	九 州 大 学	九州地方会特別幹事	石谷 徳人	鹿 児 島
大学代表幹事(事務局庶務)	馬場 篤子	福岡歯科大学	九州地方会特別幹事	橋本 敏昭	福 岡
大学代表幹事	星野 倫範	長 崎 大 学	監事	入江 英仁	熊 本
大学代表幹事	岩崎 智憲	鹿 児 島 大 学	会計幹事	岡 暁子	福岡歯科大学
県代表幹事	空田 安博	福 岡	広報幹事	石井 香	福 岡
県代表幹事	柏木伸一郎	福 岡			

編集後記

朝早くから、窓を開けるとけたたましい蝉の声が飛び込んできます。「暑い中、本当に御苦労様」と声をかけたくになります。人間界も、夏休みに入り、朝から忙しい小児歯科です。新人の頃、K教授に「小児歯科医は季節労働者だからね」と言われ早や数十年、いまだに抜け出せません。只々健康に感謝の毎日です。

石井 香